

日本自動車工業会 二輪車駐車場に関する取り組みについて



2026年1月29日

一般社団法人日本自動車工業会
二輪車委員会 二輪車利用環境分科会

発表内容

項目1

市場概況とユーザー困窮度について

項目2

自工会で実施した過去の調査について

項目3

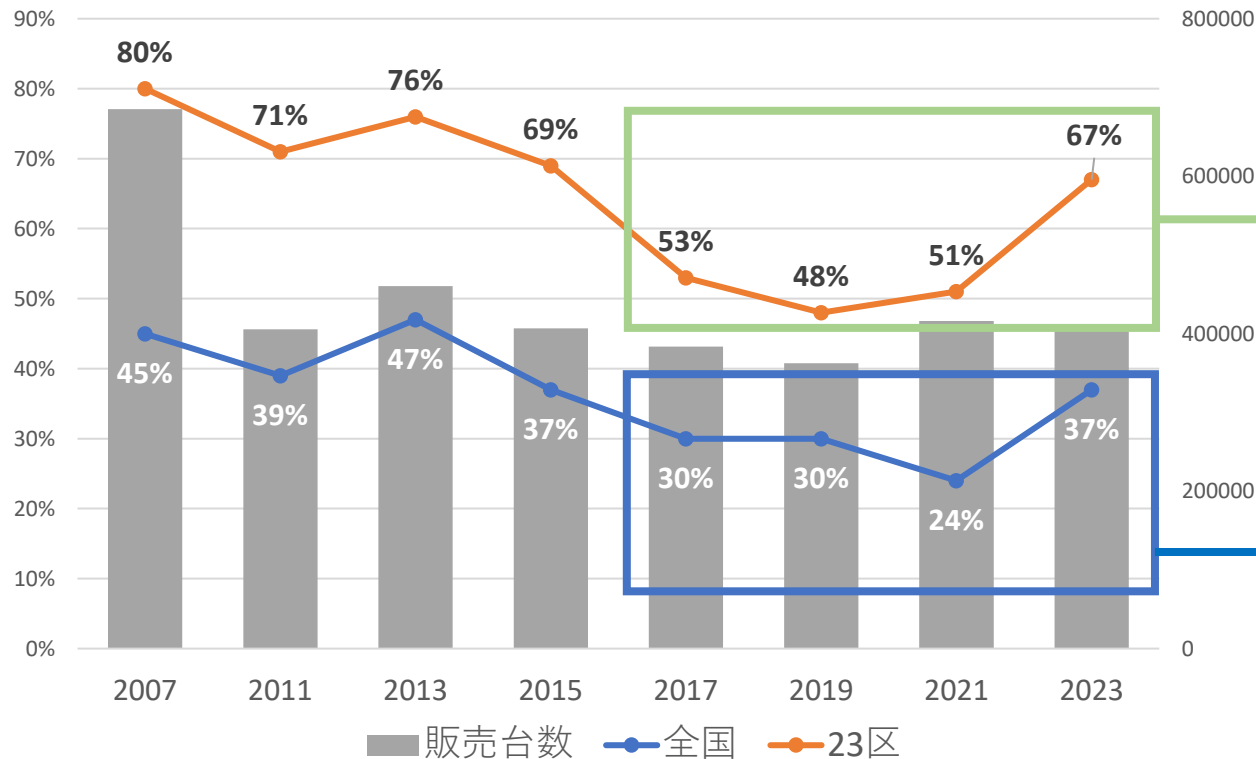
地方公共団体と連携して実施した取り組み

二輪駐車場についてのユーザー困窮度

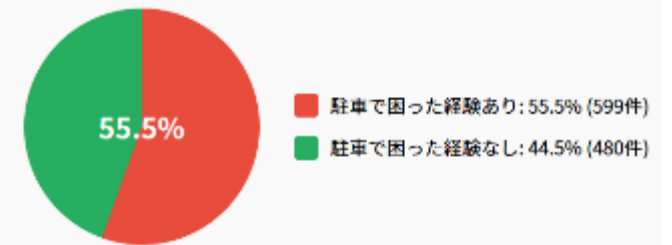
■ 自工会 市場動向調査 における 二輪駐車場困窮度（駐車で困った割合）の推移

- 困窮度は2021年にかけて減少傾向だったが、**2023年に増加**
- **都市部の困窮度(55.5%)**は**全国(30.0%)**の約**1.8倍** ※2017~2023年アンケート
- 都市部における**原付2種の困窮度(61.6%)**は**原付1種(36.0%)**の約**1.7倍**で推移

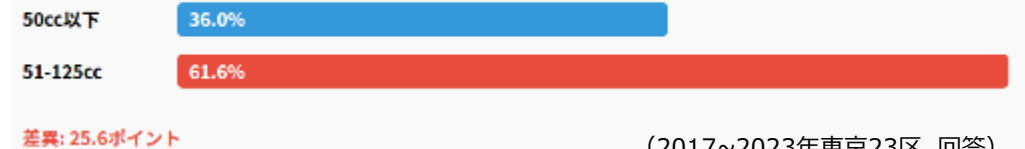
「駐車で困った経験あり」の割合と販売台数の推移



東京23区対象
(2017~2023集計)



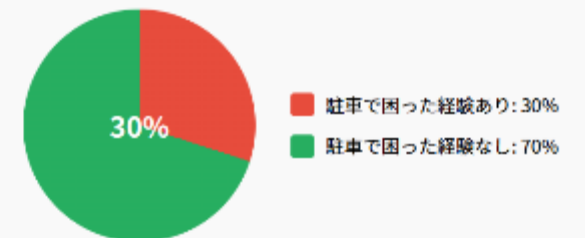
駐車困窮率（アンケート回答ベース）



(2017~2023年東京23区 回答)

全国対象

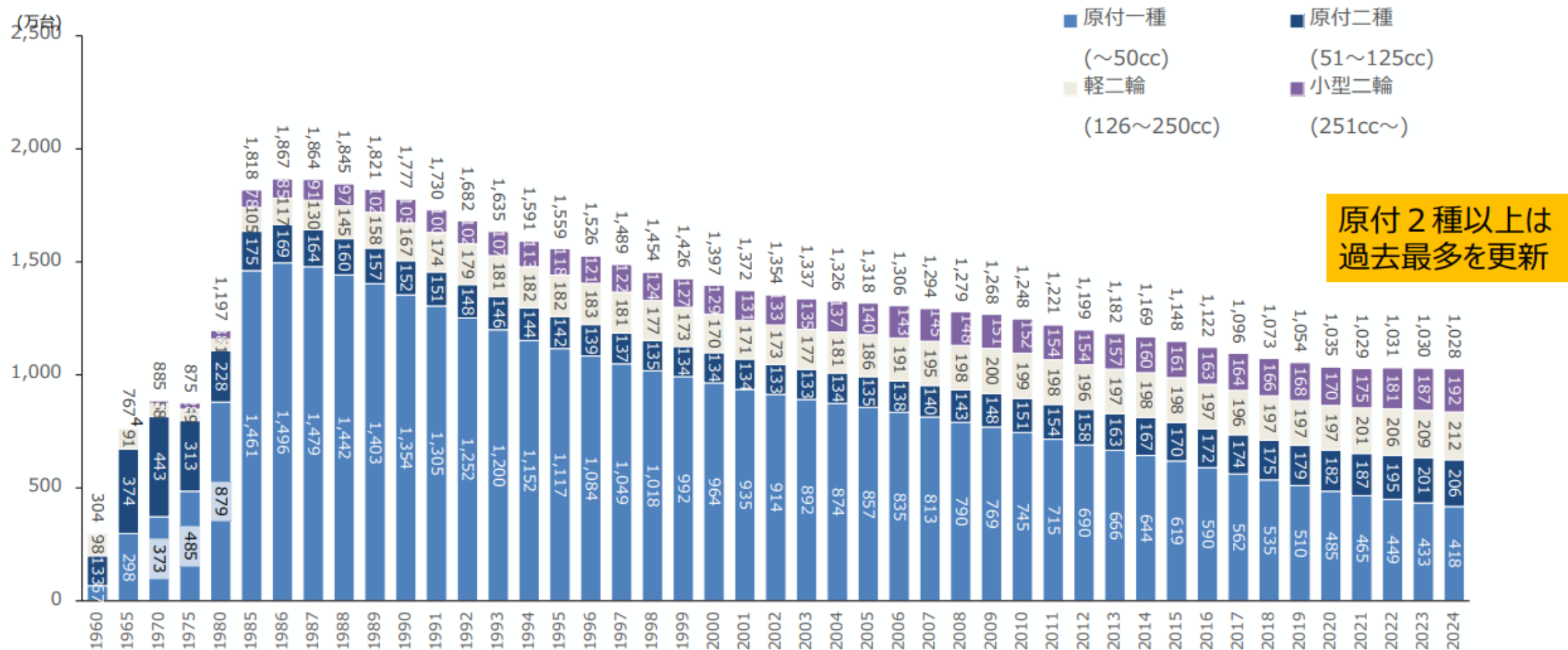
(2017~2023集計)



バイク国内保有台数の動向

第1回市街地における自動二輪車等の駐車スペース確保に係る
関係省庁連絡会議（R7.5.12）経産省様 資料より

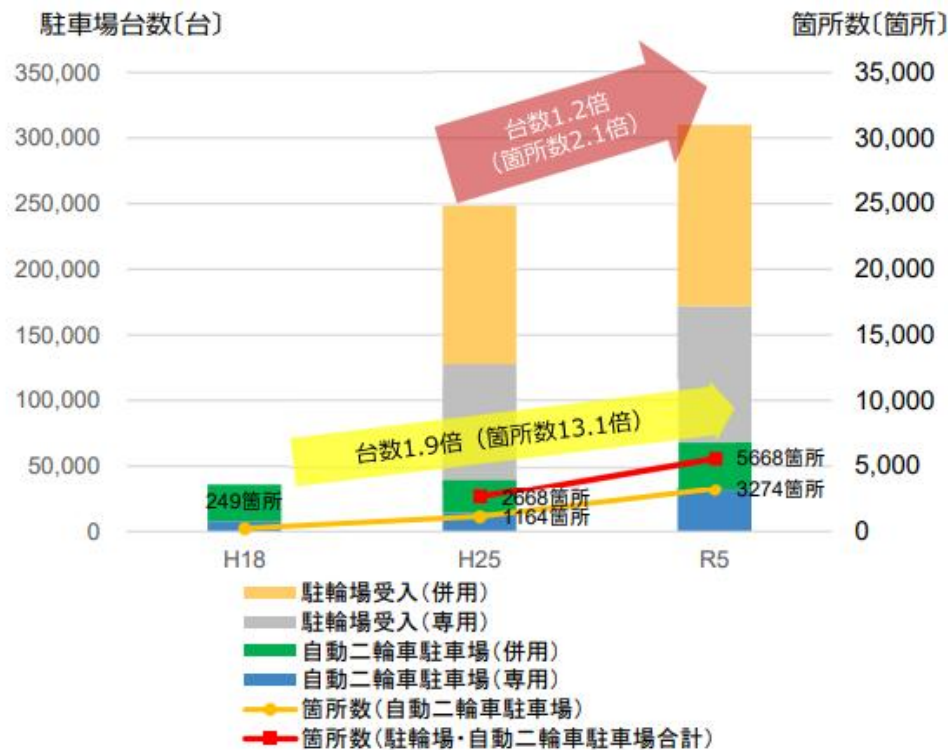
- 国内のバイク保有台数は約1,028万台。うち原付一種が41%（418万台）。
- 原付一種以外のカテゴリーは増加傾向。



- 平成18年の駐車場法改正により、駐車場法の対象に自動二輪車を追加。令和5年度末現在、自動二輪車駐車場の供用台数は1.9倍（平成18年比）に増加。（駐輪場受入含めた台数は平成25年比で1.2倍に増加）
- 自転車等駐車場での受入を含めて、保有台数1,000台あたり50.8台の駐車場を確保。

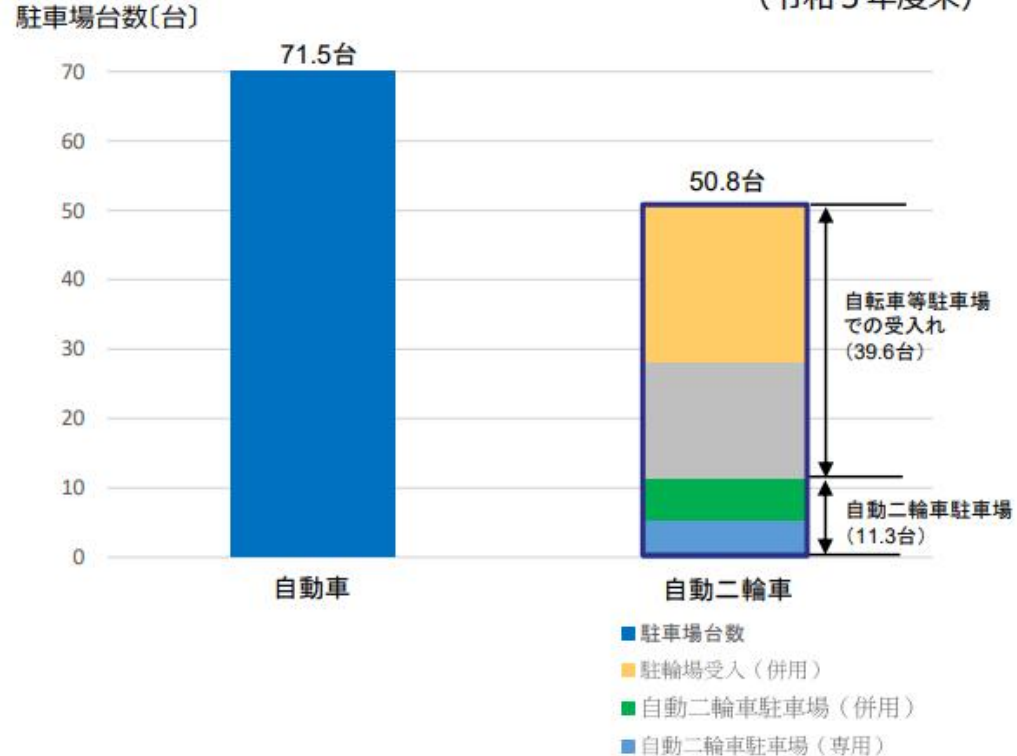
※ 自動二輪車保有台数は、第二種原動機付自転車、軽二輪車及び小型二輪車（道路運送車両法第4条）をあわせた数値を算出している。（出典：市町村税課税状況等の調（総務省）、わが国の自動車保有動向（一般財団法人 自動車検査登録情報協会））

■ 自動二輪車駐車場の供用台数・個所数



■ 保有台数1,000台あたりの駐車場台数

(令和5年度末)



注1 駐車場の箇所数及び台数は、都市計画駐車場、届出駐車場、附置義務駐車施設、路上駐車場の合計値。

注2 専用は、自動二輪車のみが駐車可能なスペース。

注3 併用は、自動二輪車及び自動車（駐車場の場合）または自転車（駐輪場の場合）がともに駐車可能なスペース。

第1回市街地における自動二輪車等の駐車スペース確保に係る関係省庁連絡会議（R7.5.12）国交省様資料より

発表内容

項目1

市場概況とユーザー困窮度について

項目2

自工会で実施した過去の調査について

項目3

地方公共団体と連携して実施した取り組み

《過去調査》

- ① 2021年度 :自治体の二輪車駐車場 事例集
- ② 2022年度 :自治体の二輪車駐車場政策に関する 調査
- ③ 2023/24年度 :二輪車駐車場 空白地帯 推計(非公開)
- ④ 2025年度 :2025年 23区二輪車駐車対策 ヒアリングレポート(製作中)

《過去出席会議・WG》

■国交省

2022年 第35回 全国駐車場政策担当者会議

2023年 まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会 第一回 需給マネジメントWG

2024年 まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会 第二回 需給マネジメントWG

■東京都

2023～2025年 自動二輪車対策担当者会議

2021年度：自治体の二輪車駐車場 事例集2021



■仙台市：宮城通一帯地下自転車等駐車場
地下鉄の最寄り駅に合わせ、市中心部の地下に大規模な二輪車駐車場を建設した。



■東京都：中野駅南口オートバイ駐車場
東京都道整備局が東京都および中野区と連携して二輪車駐車場を開発した。



■渋谷区：渋谷区役所地下駐車場
区営の自動車駐車場に二輪車を受け入れたケース。専ら一時的利用の駐車ゾーン。



■町田市：玉川学園通り自転車駐車場
二輪車の駐車需要に対応するため、被服庫を転用して駐車スペースを確保した。

自治体の二輪車駐車場・事例集 2021

■名古屋市：緑三丁目・路上面付駐車場
市内各所に既存の路上駐車スペースを確保している。無料と有料の施設がそれぞれある。



■茨城県：茨城県庁前
PR法に基づく事業手法により、民間団体を導入し二輪車駐車場を開発した。



■神戸市：三宮駅前
公共の自動車駐車場に二輪車を受け入れているケースを3例取り上げる。



■福岡市：博多駅南口自転車駐車場
出入口を民間施設と共用とすることで、面積広った地下式の駐車場を実現した。



二輪駐車場整備で特色のある8自治体取材・紹介

- ・ 仙台市
- ・ 東京都
- ・ 渋谷区
- ・ 町田市
- ・ 名古屋市
- ・ 箕面市
- ・ 神戸市
- ・ 福岡市

《資料リンク》

<https://www.jama.or.jp/operation/motorcycle/environment/pdf/JAMA MCPJ Complete M.pdf>



担当部署	名古屋市 緑政土木局 路政部 自転車利用課 駐車対策係	電話 052-972-2877
	名古屋市 住宅都市局 都市計画部 交通施設管理課	電話 052-972-2774

■名古屋市の二輪車駐車対策

名古屋市の二輪車駐車対策は、原付（50cc以下）に関しては、自転車の放置防止と併せて駐車場を整備している。JR名古屋駅周辺には、市営および市が道路占用許可をした路上原付駐車場（有料）が数カ所整備されている。また、商業施設等で賑わう栄地区には、数台から十数台程度がとめられる市営の路上原付駐車場（無料）が約50カ所、点在するように設置されている。原付ユーザーはこれらの駐車場を便利に利用することができる。なお、同市内全体では、原付専用駐車場は154カ所あり、収容可能台数は3,350台となっている。

自動二輪車（50cc超）に関しては、市営の公共自動車駐車場への受け入れを行う一方、民営の自動車駐車場に対して自動二輪車の駐車を受け入れるよう働きかけを行っている。これにより近年は、自動二輪車の駐車を断らない自動車駐車場が市内に増えているが、料金は自動車と同じという施設が多い。ちなみに市内の都市計画駐車場に限ってみると、二輪車専用の駐車枠を備えているのは6カ所で、収容可能台数は合計50台となっている。



路上原付駐車場のマップ
青は原付専用。赤は自転車と併用。



自動二輪車駐車場の案内チラシ
名古屋駅周辺と栄地区の施設を紹介

路上に原付（50cc以下）駐車場を整備

■錦三丁目・栄三丁目ほか路上原付駐車場

無料駐車場・ロケーション

飲食やショッピングで人出の多い栄地区。錦三丁目に18カ所、栄三丁目に15カ所、栄四丁目と五丁目を合わせて13カ所、街区の各所に路上原付駐車場が整備されている（写真1・写真2）。いずれも無料で利用でき、どの駐車場も満車に近い状況だ。

無料駐車場・レイアウト

路上原付駐車場は、歩道に切り込む形で駐車スペースが確保されており、歩道とは柵で仕切られている。入出庫時の安全を確保するため、車道側の路肩にはゼブラゾーンを表示させることでクリアランスをとっている。駐車スペースの始点と終点には「駐車可」の標識が設定され、「原付に限る」となっている（写真2）。

有料駐車場・ロケーション

名古屋駅周辺には、有料の原付駐車場が整備されている。道路空間を活用したものが多く、名古屋都市高速都心環状線の高架下を活用した「国際センター南自転車駐車場」（写真3）には、定期利用の原付が60台収容できる。

また、名古屋駅東口の桜通には、一時駐車が可能な有料の路上原付駐車場が33台分整備されている（写真4）ほか、名古屋駅北側にある鉄道高架下には、有料の原付駐車場（一時：59台／定期：33台）が設置されている。

ロケーション

桜通の路上原付駐車場。写真の奥に見えるのは、名古屋駅とJRセントラルタワーズ。駅に近く利便性が高い。



トピック

有料の路上駐車施設は、ワイヤーロック式で課金するタイプ。歩道側に精算機が置かれている。



渋谷区

■都市計画駐車場の一部を転用

渋谷区役所前公共地下駐車場：四輪駐車場を転用。定期利用も併設



区役所新庁舎の建設に伴い駐車場を
移転。中心地でアクセスも良い



ゲート中央に隙間がありそのまま通行できる

自治体の二輪車駐車場政策に関する調査

報告書 2023(令和5)年1月

一般社団法人日本自動車工業会 二輪車委員会二輪車企画部会

東京都(区市)および全国の政令指定都市50都市を対象に、自動二輪車の駐車場政策を担当する部署にアンケート調査を実施。アンケート結果と共に各自治体における駐車場の設置に係る条例、二輪車の駐車場政策の概況まとめた。

■調査対象

東京都の特別区(23区)

東京都の市(7市)※二輪違法駐車取締り件数が多い市

政令指定都市(20市)

《資料リンク》

<https://www.jama.or.jp/operation/motorcycle/environment/pdf/Survey on Municipal Motorcycle Parking Policies.pdf>

《調査結果と考察》

Q. 地域に自動二輪駐車場を増やすためには、どのような要件が満たされることが必要か？

「民間事業者が参入できる採算性が必要」	約54% が回答
「どこに駐車場が必要か具体的な情報が必要」	約50% が回答
「自動二輪車駐車場を求める住民の声が必要」	約40% が回答



二輪駐車場は増加傾向にあるものの、都市部中心に空白地帯がある状況と想定される。

- ランドマーク周辺で駐車場需要が高い地域
- 二輪の駐車場が不足している地域
- ユーザーの要望が上がっている地域

該当する地域情報を、分かり易く駐車場整備自治体に伝える必要がある。

東京 23 区 of 二輪車駐車対策

ヒアリングレポート

活動概要

- 1) 活動名称：東京 23 区 of 二輪車駐車対策ヒアリング活動
- 2) 訪問対象：東京 23 区 of 二輪車駐車対策担当係
- 3) 訪問期間：2025 年 5 月～8 月

令和 7 (2025) 年 12 月

一般社団法人日本自動車工業会

●ヒアリング

【二輪車駐車場整備の現況について】

- ✓ 二輪車の駐車対策に関する条例・要綱の確認
 - 違法駐車防止関係
 - 駐車場設置関係
 - 大型施設への附置義務関係
 - 集合住宅への附置義務関係
 - 施設整備への助成関係
- ✓ 二輪車駐車場の整備方針
- ✓ 原付駐車場の施設数・収容台数
- ✓ 自動二輪駐車場の施設数・収容台数

【二輪車駐車場整備に関する課題など】

- ✓ 原付駐車場を新基準原付に適応させることについて
- ✓ 原付駐車場の対象を原付二種に拡大することについて
- ✓ 駅周辺に二輪車駐車場を増やすことについて

●情報提供

- ✓ 二輪車駐車場推計の紹介
- ✓ 国内二輪車市場の動向（自動二輪の増加）
- ✓ 二輪車駐車場拡充への理解・協力を要望

二輪車駐車場整備への課題・困難点

コロナ禍の発生以降、都内では自転車の利用需要が高まっており、各区において自転車の駐車対策は優先度が増している。また、次世代モビリティの可能性が広がり、シェアサイクルの普及や特定小型原付への対応にも迫られる一方、原付や自動二輪への課題意識は低下する傾向がある。

各区の実情は自転車駐車場の確保だけでも手いっぱいなところに、原付や自動二輪のために新規の駐車場用地を得ることはたいへん困難であり、行政が対策を担うのではなく、都市開発に伴った建築物への附置駐車場を増やすなど、民間活力を誘導し、その取り組みに期待するところが大きい。

駐輪場への原付二種受け入れ意向

国交省通知に基づき、原付駐車場に新基準原付を適応させるに当たり、車格が同等の原付二種まで受け入れを拡大してほしいとの要望を伝えており、各区の意向を尋ねた。

- 自転車条例により自動二輪駐車場の整備を行っている12区は、原付二種の受け入れにさほど抵抗感はなく、すでに受け入れ区分がスタンダードになっている区もある。
- 区立駐輪場に原付のみ受け入れているところでも、原付二種への拡大は検討の余地があるとする区もあり、実現のためには「住民からの要望の声が必要」、「原付二種の利用ニーズが高ければ検討できる」、「新規の駐車場に適応させるのが現実的」といった声があった。
- 現時点で原付二種への受け入れ拡大の意向はないとした区では、「自転車対策が優先」、「原付・自動二輪の駐車需要が低い」、「『自転車法』が改正されないと困難」といった意見が上がった。

●二輪車駐車場整備に関する課題や意見

- ・区内において二輪車の放置が少ないため、課題に挙がらない。
- ・区議会、政党、団体からの要請などは近年とくにない。
- ・区民から二輪車駐車場がほしいという声がない。
- ・駐輪場に自動二輪を受け入れたいが、騒音や利用マナーへの住民苦情が多く、踏み切れない。
- ・『自転車法』が変われば条例も従う（対象に原付二種を含めることについて）。
- ・自転車条例の対象を自動二輪に拡大したら、自動二輪の放置車両も撤去しなければならない。
- ・区の条例を改正することで自動二輪に対応できるというなら、国は『自転車法』や『駐車場法』の標準条例を自動二輪に配慮したものに改めてほしい。そうすれば多くの自治体が追従する。
- ・路上自動二輪駐車場の設置を検討しても、国道や都道の占用許可を得るのが難しい。
- ・国や東京都が二輪車駐車場の整備を区に呼びかけるより、道路管理者として国道や都道を活用して自ら整備することも検討してはどうか。

発表内容

項目1

市場概況とユーザー困窮度について

項目2

自工会で実施した過去の調査について

項目3

地方公共団体と連携して実施した取り組み

地方公共団体と連携して実施した取り組み



8月19日はバイクの日 イベント

例年、東京都様がブース出展、駐車場MAPを配布し周知活動を実施。ステージイベントでは小池都知事ビデオメッセージとして安全運転、二輪駐車場整備の状況を解説。



MOTOINFO 自工会オウンドメディア 自治体の駐車場の取り組みや新規駐車場を紹介

SEARCH

検索結果

MOTOINFO
Motorcycle Information

「駐車場」を含む記事



急な雨も安心！都内屋根付時間貸バイク駐車場6選

#バイク専用駐車場

#駐車場問題



駐車場シェアリングに勝機!? 拡大を続けるバイク駐車場の現状を知る

#アキッパ

#インタビュー

#シェアリング

#駐車場問題



予約制駐車場が慢性的なバイク駐車場不足の問題解決につながるのか？

#インタビュー

#バイク専用駐車場

#駐車場問題



【年々増加】都営施設にバイク駐車場の設置拡大！バイク利用環境改善の兆し

#快適性向上

#法改正

#災害

#駐車場問題



バイクの駐車場設置活動のその後に迫る！

#バイク専用駐車場

#快適性向上

#駐車場問題



2分でわかる！バイク駐車場事例から見た新しい可能性

#快適性向上

#駐車場問題

地方公共団体と連携して実施した取り組み

BLFは毎年、二輪車メーカーや関連企業・団体が、経産省や地方自治体とともに、バイクを取り巻く課題と文化を議論するため構成された会議体。



過去の開催都市

第1回 鈴鹿	第7回 やまなし
第2回 浜松	第8回 中止※コロナ禍
第3回 熊本	第9回 オンライン
第4回 兵庫	第10回 大分・日田
第5回 群馬・前橋	第11回 静岡・浜松
第6回 岩手・一関	第12回 南国みやざき

パネルディスカッション：モトツーリズムを推進する自治体の課題と展望



3 施策・取組

二輪車産業政策 ロードマップ2030 5.社会基盤の整備

浜松市自転車等駐車場条例を一部改正

概要：①原付2種（125cc以下）を定義付け
②駐車可能車種の見直し

成果：ハード整備をせずに二輪車駐車可能台数を増加
① 自転車のみ ⇒ ～125ccまで : 435台
② ～50ccまで ⇒ ～125ccまで : 28台
③ ～50ccまで ⇒ 全車種 : 116台

中心市街地の大型商業施設への二輪車専用駐車場設置



注）新規設置ではありません。



図26- 駐車場に対する需要の推移（バイク）



図27- 収容台数の不足状況（バイク）

出典：浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画

二輪車車両区分見直しについて

現行の総排気量 50cc 超 125cc 以下の原動機の最高出力を、総排気量 50cc の原動機相当（4.0kW）に制御することにより、現行原付と同等程度に性能を抑えた二輪車（以下「新基準原付」という。）を一般原動機付自転車とする法改正が実施されました。

原付は通勤・通学、用足しなど、自宅から最寄り駅までの端末交通機関として広く利用されており、全国の鉄道駅周辺には「自転車等駐車場」の名称で自転車のほかに50cc原付に限り収容可能な駐車場が多く整備されています。

新基準原付が「自転車等駐車場」でスムーズに受け入れられるよう、対応を頂くと共に、合わせて同車格サイズで、駐車場が不足している現行の原付二種(125ccクラス)についても、受け入れのご検討をよろしくお願い致します。

《ご参考》国都街 第89号:道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令等の施行に伴う駐車環境の整備に向けた取組の推進について

<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001843184.pdf>